



2月13日生瀬トンネル開通供用開始



橋脚工事の進む西宝橋



ガードマンが白〇地点に崩落しそうな岩があったと言う。



一部カゴマット護岸が残る生瀬橋上流護岸



2月13日現在の2号床止め工事進捗状況



新旧交代が進む南武橋。新橋は元浜橋に改名される模様

2月13日生瀬トンネル開通、午前5時から供用開始。旧道(176号線)閉鎖され、途中の吉田工業従業員?が中国自動車道改修工事現場(旧リバーサイト住宅)へ迷い込んで難儀していた様である。近隣からトンネル撮影に来た人がいることから、地域には十分な説明が行き渡っている筈なのに、情報が必要な人へ十分伝わっていなかったようである。トンネルは三田方向え向かう二車線トンネルと思っていたが、旧道整備期間中は対向1車線で運用されるようで、歩道の一部が削られ右折車線に転用、歩道が亡くなった代替トンネルが作られた模様、工事の進捗に合わせて車線変更がある模様で、木之元付近でガードマンもビックリするくらい度々車線変更があった。青葉台の斜面崩壊危険個所の工事で樹木伐採したら家の直ぐ裏山に今も崩落するのではないかと思われる岩があったとガードマンが教えてくれた。西宝橋架け替え工事現場付近で出会った国交省職員と短い会話を交わし道路の取り合いについて聞くと、完成したら「なるほどな」と分かれると答え、難し交渉の末に決まったことが伺えた。

